



福祉セミナーのご紹介



那覇市では **こころ** のバリアフリーを広げ
 みんなが過ごしやすいまちを目指し、高齢者、障がいのある方等へ
 お手伝いやコミュニケーションの方法を学ぶ福祉セミナーを那覇市内
 の小学生や事業者の方などを対象に実施しています。

ぜひ ご参加ください!!



よろしく
お願ひします



受講後の感想



- ◆ 車いすの利用方法など普段、学ぶ機会がないので良かった。
- ◆ 自分が気付いていない障壁が多くあることに気付いて良い機会になった。
- ◆ 実務だけでなく、当事者の話を聞くことができてよかった。
- ◆ 実践的な講習会でしたので、職場にもいかせると思った。
- ◆ 健常者にはわからない困りごとであったりを考える機会となりました。



福祉のまちづくり情報



福まちだより

心のバリアフリーでみんなが笑顔のまちづくり



那覇市では、すべての方が住みなれた地域で、安心して暮らすことが
 できるよう「福祉のまちづくり条例」のもと「福祉のまちづくり(福まち)」や
 「心のバリアフリー」を推進する取り組みを行っております。



【今号のテーマ】

バリアはどこにある？

バリアフリーに関するマーク

福祉セミナーのご紹介



バリアはどこにある？

障がいのある方等が社会の中で直面している 4つのバリア

(1) 物理的なバリア

公共交通機関、道路、建物などにおいて、利用者に移動面で困難をもたらす物理的なバリアのこと。



エレベーターのボタンが高い位置にあると車いすを使っている方はボタンが押せません。



盲導犬に対する理解が不十分なため、盲導犬を連れての入店を断られることがあります。

(2) 制度的なバリア

社会のルール、制度によって、障がいのある方が能力以前の段階で機会の均等を奪われているバリアのこと。



車内アナウンスだけでお知らせしても、聴覚に障がいのある方には情報が伝わらず、どうしたらいいのか困ってしまいます。

(3) 文化・情報面でのバリア

情報の伝え方が不十分であるために、必要な情報が平等に得られないバリアのこと。



点状ブロックがあることに無関心で、その上に無意識に立ったり物を置いたりすることで、視覚障がいのある方のバリアをつくってしまいます。

(4) 意識上のバリア

周囲からの心ない言葉、偏見や差別、無関心など、障がいのある方を受け入れないバリアのこと。

バリアフリーに関するマーク



それぞれのサインやシンボルマークの意味を理解して **こころ** のバリアフリーを広げましょう！



障がい者のための
国際シンボルマーク



視覚障がい者のための
国際シンボルマーク



ベビーカーマーク



ほじょ犬マーク



オストメイト用設備/
オストメイトを示すマーク
オストメイト(人工こうもん、人工
ぼうこうをつけた人)を示すマ
ークです。



ハート・プラスマーク
身体の内部に疾患のある
方のためのマークです。



ヘルプマーク
外見から分からなくても、周囲の
人に配慮を必要としていること
を知らせることで、援助を得やす
くなるためのマークです。

★県外出身の車いすユーザーさんの声★

沖縄に移住して4年ほど。

沖縄でお店に入るとき「普段はどうやっていますか？」
と聞かれることがありがたいと思った。

沖縄は・・・

『心のバリアフリーは、ナンバーワン！』

とお話しされていました。



耳マーク

Hearing Loop
ヒアリング
ループマーク



手話マーク

筆談マーク

【耳マーク、手話マークなど】
聴覚に障がいのある方のための
国内で使用されているマークです。